



「大波下白屋線」は鉄道の廃線敷を利用した自転車道で、周囲は緑豊かな山並みと田園の中に川が流れる美しい環境で、沿道にはリゾート公園をはじめ、学校、福祉施設、住宅団地などが点在している。道路は、幅をもたせて周囲の緑に映えるように路面をカラー舗装している。沿道には、市の花であるサツキが植栽され、桜などの高木を配することにより立体的

な広がりにも考慮している。また、構造物には植栽ブロックや石調ブロックなどを使用し、配色も落ちついた色合いにして周囲の景観との調和を図っているほか、舞鶴市の特色であるレンガを橋梁や駐輪場を使用してしている。さらに、駐輪場に階段式親水護岸を設けたり、鉄道の名残をとどめるデザインを橋梁の高欄や橋面に施している。

21 大波下白屋線

おおばしろやせん

DATA・BOARD 21

- ① 京都府舞鶴市安岡～朝来西町
- ② 延長：2,300m，幅員：3.0m
- ③ 自転車道，橋梁，駐輪場，親水護岸，休息施設
- ④ レンガ，カラー舗装，植栽ほか

